

研究構想シート	学校名	益田市立安田小学校
	氏名	牛尾 安美
A 研究主題 「社会的事象との関わり」と「考えを表現すること」を大切に学習づくり ～互いの考えを分かり合い、未来に向かって考えることを楽しむ学習集団をめざして～		
B 研究の目的 社会科の学習を中心に、「社会的事象との関わり」と「考え表現すること」を大切に学習づくりの具体を探ることをとおして、「互いの考えを分かり合い、未来に向かって考えることを楽しむ学習集団」をめざす。		
C 子どもの実態他 ・子どもたちは素直で、問われたことに対してはよく考え、懸命に学習活動に取り組む。 ・自分から問いを見つけ、その問いを解決するために自分から複数の情報を集めたり、集めた情報をもとに考えたことを表現しようとしたりする子どもは少ない。 ・本校は令和6年度「第62回全国小学校社会科研究協議会研究大会（出雲大会）」で学年別課題研究（第3学年）の発表をすることが決まっている。そこで研究教科を「社会科・生活科」とし校内全体で研究を進めることとした。	E 手立て・内容（研究仮説） 次のことを大切にして学習づくりをすることで、めざす子どもの姿が見られることを期待する (1) 社会的事象にかかわる「人」大切にされた単元構成と、問いかけを工夫する (2) 考える視点を明確にし、子どもの表現と表現をつなぐ学習をつくる (3) 学習の基盤となるかかわりを大切にする	D めざす子どもの姿 ①自分から社会事象に関わり「問い」を見つけ、複数の資料を集めて解決しようとする学習集団 ②自分から社会的な見方・考え方を働かせて比較、分類、関連付けをし、仲間と考え、表現することを楽しむ学習集団 ③自分から、学びをこれからの学習や生活につなげ生かそうとする学習集団
F 検証方法 (1) 子どもの意識調査（校内社会科・生活科アンケート）及び学校評価より評価する。 (2) 学習でめざす子どもの姿や学習集団の姿を明確にし、指導者の見取りにより評価する。 (3) 学習の記録等から発言、つぶやき、子どもの作成物（ワークシート）等より評価する。 (4) 学力調査等の結果（情報にかかわる項目、資料の活用に関わる項目等）から評価する。		
G 研究計画 ①昨年度研究の振り返りと研究計画作成 ②研究内容等のめざす姿の共通理解 ③児童理解研修と子どもの意識調査（1回目） ④社会科研修会（講師を招いて） ⑤授業研究（低・中・高・特学年部で実施） ⑥年間計画等の見直し研修会 （カリマネの視点で） ⑦特別支援教育研修 ⑧ICT活用研修 情報活用研修 ⑨授業づくり研修会（後期重点授業の検討会） ⑩全国社会科研究大会（11月1日 出雲） ⑪全国学力・学習状況調査結果分析等研修 ⑫子ども意識調査（2回目） ⑬今年度のまとめと来年度の方向性を決める		